



ENGINE: 7M-GTEU TYPE: 6 CYLINDERS IN LINE · TURBO CHARGED TWINCAM 24 VALVES WITH INTERCOOLER DISPLACEMENT 2,954cc
MAXIMUM POWER NET 230ps/5,600r.p.m. · MAXIMUM TORQUE 33.0kg-m/4,000r.p.m. · COMPRESSION RATIO 8.4
FRONT AND REAR SUSPENSION: DOUBLE WISHBONE WITH TOYOTA ELECTRONIC MODULATED SUSPENSION
BRAKES: POWER ASSISTED 4 WHEEL VENTILATED DISK STEERING: POWER ASSISTED RACK AND PINION GEAR

S U P R A

名車として譽れも高い夢のクルマ、
TOYOTA2000GTがあった。
その精神と魂をここに甦らせる
TOYOTA3000GTスープラ誕生。
スープラ、それは「至上」を意味する。



私たちは、グランド・ツーリングカーの新しい可能性を追求した。

現代の最新テクノロジーを持ってすれば、

高感度なポテンシャルを秘めた走りを実現できるはずだ。

誰もが待ち望んでいる、走りの核心へと可能な限り迫ってみた。

3.0GT TURBO



PHOTO : 3.0GTターボ



3.0GT TURBO

PHOTO : 3.0GT ターボ

直線を感じさせない円やかなラインが形づくる有機的なフォルム。
空力性能を数字だけで語るのではなく、トータルで極めた走りの姿。
人を惹きつける美しいグランド・ツーリングカーの魅力がある。



PHOTO : 3.0GTターボ

3.0GT TURBO

贅を尽くした本物だけが持つ、
クオリティの高まり。
そこに身を委ねる時、
深く静かに満たされてゆくだろう。



3.0GT TURBO

PHOTO : 3.0GT ターボ

パノラミックデジタルメーターの中で躍動する、メカニズムの熱き鼓動。

いつか夢みた、心ときめく高質な走りがここにはある。

ツインカム24バルブ・ターボチャージャー、
with 空冷式インタークーラー。
この極限のメカニズムによって、
グランド・ツーリングカーのロマンを伝えたい。

LASRE α 7M TWINCAM 24 TURBO

新世代のグランド・ツーリングカーを自ら標榜する以上、スープラには普通のパワーユニットではものたりない。現在、私たちが考える最高のスペックと最高のポテンシャルを持つエンジンが必要だった。そして、最新テクノロジーが駆使され生まれたのが、レーザーα 7Mツインカム24ターボ。トヨタの誇る新世代エンジンシリーズ、レーザーのフラッグシップにふさわしい最高出力・ネット230psの圧倒的なポテンシャル。しかも、3.0ℓ直列6気筒ツインカム24バルブ+ターボチャージャー with 空冷式インタークーラーの窮屈のメカニズム。エンジンの持つ、吸気、排気、燃焼、圧縮等のあらゆる効率を極限まで追求した必然のカタチ。高出力エンジンでありながら、アイド

リング時から高回転域まで、すべての回転域においてウルトラスマーズな扱い易さを持つ。そして、アクセルに瞬応するスーパーレスポンス。中・低速域でのトルクフルなエンジン特性、静肅性、経済性をもあわせ持つ。現代のグランド・ツーリングカーにふさわしい資質を備えたのだ。これはまた、高効率エンジンを追求するトヨタ・ツインカム技術の集大成とも言える。1967年のトヨタ2000GTに搭載された3M型から始まったトヨタ・ツインカムの歴史。その間に2T-G、4T-GTをはじめ、世界に名だたる数々の名エンジンを輩出してきた。トヨタ・ツインカムは、このレーザーα 7Mツインカム24ターボによって新たな領域へのチャレンジを始めたのだ。



新世代・4輪ダブルウイッシュボーン、TEMS、4輪 ESC……。
走る、曲がる、止まるは革新のテクノロジーによって、美しさまで手に入れてしまった。



Front & Rear Double Wishbone Sus.

サスペンションには、タイヤをいかに路面へ接地させてクルマの動きを生み出すか、路面からの入力をいかに吸収してボディに伝えないようにするかという2つの働きがある。つまり、タイヤから伝わってくるショックはしなやかに受け流し、ハンドリングに悪影響を与えるタイヤやホイールの変位をおさえることだ。高性能な走りを目指すスーパープラには、高性能なサスペンションが必要だった。走りの質により高いレベルを求めるためには、使い慣れたサスペンション・システムの熟成だけでは越えることできない限界が見えてくる。私たちは、従来のスペックとコンポーネントには全くこだわらないで、サスペンションそのものをより高いポテンシャルを持つものに変えなければならないと考えた。そこで

選んだサスペンションが、ダブルウイッシュボーン。アームとリンクによって、幾何学的に構成されたサスペンションだ。タイヤからの入力をアームとリンクのそれぞれの方向に分割して支持し、タイヤの動き、とくにト一変化とキャンバー変化を思いどおりにコントロールすることができる。しかも、同時に柔軟性を充分に確保している。スーパープラに要求される高いレベルでの操縦安定性と乗り心地は、ここに実現された。



走りの機能と感性の新たな融合。そしてダイナミックな躍動感。
比類なきポテンシャルを秘めたこの姿に羨望をつのらせるだろう。



C_d: 0.32
— Aero Dynamics

現代において、空力特性は避けは通れない問題だ。高速走行時の操舵安定性、最高速度、燃料消費、快適性、さまざまな車両性能に大きくかかわってくれる。スープラは、空力特性についても最高を求めた。フラッシュ・サーフェスのフォルム、そしてダブルウイッシュボーン・サスペンションとリトラクタブル・ヘッドライトによる低いボンネット。大型ウイングタイプのリヤスポイラー（オプション）、傾斜の強い（27°）のフロントウインドウ、空力アンダーボディ。全身くまなく空力特性を追求しながら、ボディを設計した。

風が磨き上げたフラッシュ・サーフェス。
魅惑的なこのフォルムには、最先端のデザイン美学がある。



Drastic Performance Design

かつて、ここまで走りのポテンシャルを窮めたグランド・ツーリングカーが存在したことがあつただろうか。その圧倒的な性能を感じさせるフォルム、これが私たちのデザイン・テーマ“ドラスティック・パフォーマンス・デザイン”

だ。ボリュームのあるグラマラスな姿には、現代のグランド・ツーリングカーとしての空力特性への徹底的な洗練がある。スーパーフlowのトータルエアロダイナミクスへの解答として、ボディーのフロントトリヤを大きく絞りこみ、ホイー

ルフレアを廃したストリーム・サーフェスのフォルムを採用。ウェッジ・シェイプを形づくる低いボンネットとリトラクタブル・ヘッドラップ、風をスムーズに流すフラッシュ・サーフェス、大型ウイングタイプのリヤスポイラー（オプショ

ン）。第一級の空力特性をも合わせ持つ、ワイド&ローの美しいプロポーションを実現させた。私たちの走りへの想いをこのフォルムに凝縮させたのだ。見る人すべてに、走ることへの憧れをかきたてるに違いない。



PHOTO : 3.0GTターボ

Sporty and luxurious Interior

グランド・ツーリングカーのコクピットは、乗る者へ我慢を強いる場所があるとしたら失格だ。あくまでもより快適に移動する乗り物としてのみ存在する。スープラは確かにスポーツカー並みのボテンシャルを持つが、ある種の人たちが好む荒々しさを持ってはいない。選ばれたエグゼクティブのための、隅々にまで行き届いた洗練されたクオリティ。吟味された材質を贅沢に使ったインテリア。ソフト材を多用した質感の高いインストルメントパネル、雄大なカーブを描くメーターフード、センターコンソール、トリム等が優しく包みこむレイアウト。ひとたび、走り出せばスープラとの一体感を感じる至福の時を過ごすだろう。

長距離をより速く、
より快適に移動するという
グランド・ツーリングカーの
理想を実現させた。

超ラップラウンド・
インストルメントパネル。
類いまれなパワーの脈動が、
至高の走りへと誘う。



パノラミック・デジタルメーター（3.0GTターボに標準装備、GTツインターボにElectronics仕様としてセットでオプション。）

Advanced Instrument Panel

ここには、ドライバーとの心地良い一体感がある。パウダースラッシュによるインパネから、ソフト材を多用したドアライニング、センタークラスタ等を一体造形に。手作り感のあるステッチ付のパッドを使用するなど、デザイン・素材を充分に吟味した。走りが色で見えるパノラミック・デジタルメーター

は、刻々と変わる走行情報を大型蛍光表示管を使用し、青・黄緑・赤・橙の4色によるカラー表示。水平基調のタコメーター、大型数字を使ったスピードメーターを中心にレイアウトした。判読性、使いやすさも格別。ドライビング・ポジションにも理想を求め、ドライバーのヒップポイントをスープラ

の重心近く、走行中のクルマの挙動を感じとりやすい位置に設定している。しかも、メモリー付チルト&テレスコピックステアリング機構（3.0GTターボ、GTツインターボ、GTに標準装備。G、Sにはメモリー付チルト機構のみ標準装備）によって、理想的なドライビング・ポジションが得られる。3.0GT

ターボには、シート・スライド、シート・クッション前部&後部、サイド・サポート、ランバー・サポートの調整機構を電動化したパワースポーツシートを装備。また、これらの機構はそのまま、しっとりとした感触を持つ豪華な本皮革パワースポーツシートを用意（3.0GTターボにオプション）。



3つの走りの味を持つ 先進の電子制御フルオートマチック ——ECT-S。

Electronic Controlled Transmission

7M-GT、1G-GT、1G-Gには革新のECT-S（電子制御式2ウェイ・OD付4速フルオートマチック）を搭載。OD機構とロックアップ機構の2つの先進メカニズムをマイコン制御によって、理想的に作動させ効率よくパワーを伝達させる。3.0GTターボとGTツインターボには、高トルクに対応した高性能・高効率の新型トルクコンバーターを採用。スープラにふさわしい加速性能と燃費性能をもたらす。また、レーザー1G-IIには、低燃費と静肅性で定評のあるロックアップ機構による2ウェイ・OD付4速フルオートマチックを採用。ODの4速で一定速度に達すると、ロックアップ機構が働き、パワーを機械的に伝達する。ECT-Sでは、パターンセレクトス

イッチによって、3タイプの走りが選べる。経済的な通常走行に適したエコノミーポジション。パワーや強力なエンジンブレーキが必要な走行にはパワーPOジション、そして、雪道等の滑りやすい路面での発進や走行に適した2速ホールド走行が可能なマニュアルPOジションがある。このそれぞれのパターンにそって、マイコンが変速点とロックアップ機構を制御し、パターンにあった走りを生みだす。この結果、シフト操作のいらない快適なイージードライブ本来の魅力にプラスして、ドライバーの意志を積極的に走りへ反映させる楽しさを味わわせてくれる。より快適に移動するというグランド・ツーリングカー本来の夢をさらに現実のものにするオートマチックだ。





高質な走りのみが知る
充足のひととき。
ここに至上の夢をみる。

Comfortable Cabin Environment

理想的な室内の空気の流れを追求した、最新の空調システムを採用した。コントロールパネルは、操作性にすぐれたプッシュ式に。吹出口を自動的に切換えるモード自動切換システム、暖房時に外気を導入して頭寒足熱の快適

暖房となるフレッシュフィーリングヒーターシステム等の数々の新機構を取り入れ、快適な空調を実現する。オートエアコン（販売店装着オプション）、エアコン（販売店装着オプション）には、経済的なエコノモード付。



私たちが考えうる最高のスペックとクオリティをスープラに与えた。 その完成度の高さに、驚嘆さえも覚えることだろう。

最新テクノロジーは、どこまでグランド・ツーリングカーを熟成させるのだろうか。長距離をより速く、より快適に走るというグランド・ツーリングカーの夢をどこまでかなえてくれるのだろうか。現在では、私たちが持つエンジニアリング、エレクトロニクス、ケミカル等のクルマ造りの基礎技術は加速度的な発達をとげ、クルマ造りそのものも驚異的に進歩した。そこから生まれる品質・性能は、世界のトップクラスの水準を誇っている。しかし、私たちは現在に満足することなく、さらに高次元なクルマ造りを目指そうと思う。誰もがあこがれるグランド・ツーリングカーの可能性を模索することによって——。

かつて、私たちは世界最高のグランド・ツーリングカーを夢みて、一台のクルマを世に送りだした。それが、トヨタ2000GTだった。当時、私たちが持ち得たすべてのテクノロジーと、あらん限りの若い情熱をこのクルマに注ぎこんだ。そのスペック、そのクオリティにおいて、世界の水準を遙かに凌駕したと評価された。そして、オーナーであること、走らせることができ、最高の誇りとなるとまで言われた。

1986年。私たちは現代のカーテクノロジーを結集して、再び世界最高級のグランド・ツーリングカーを目指した。比類のないハイ・ポテンシャルを秘めていてこそ、高品質を誇ってこそ、いまだかつて誰も体験したことのない豊潤なひとときを存在させると確信するからだ。エンジン、サスペンション、ボディー、コクピット……あらゆる部分で最高を求めた。企画の段階からラインオフまで、とにかく妥協を認めなかった。あのトヨタ2000GTを生みだしたメーカーとしてのプライドを賭けて——。私たちは、“スープラ”と名づけた。スープラ、それは「至上」を意味する。これは、私たちの夢であり、来たるべき未来への挑戦だ。選ばれた大人たちのプライドを満足させる質の高いゆとりを味わっていただきたい。



GAZOO

S U P R A